

大会宣言

急速な高齢化や人口減少、核家族化、働き方の多様化等により家族や地域社会等の結びつきが弱体化する中で、人と人とのつながりが希薄化し、孤独死や引きこもりの社会的孤立の問題、就労困難や失業等により生活困窮者の増加など、様々な生活課題が深刻化しています。

また、一人暮らし高齢者世帯や高齢夫婦世帯の増加、認知症や障がいにより判断能力の不十分な人への虐待や権利侵害、障がいを持つ子の親の高齢化、介護が必要なのに、施設でも在宅でも介護サービスが受けられない介護難民といった様々な課題も増加しています。

これらに対応すべく、国においては高齢者・子ども・障がい者等のすべての人が世代や背景を問わず安心して暮らし続けられるよう、制度改革が進められています。しかしながら、これらの生活課題の解決に柔軟に対応していくためには、制度内の支援やサービスのみならず、制度外のサービスや活動を積極的に展開していかなければなりません。

私たちは、生活の場である地域で支え合う力を再生し、地域住民や福祉専門職、ボランティア団体、NPO法人、福祉施設、企業、社会福祉協議会など、地域社会を構成するすべての人が一体となった支援体制を構築しなければなりません。

本日、第66回魚津市社会福祉大会を迎え、私たちは地域の支え合い・助け合いの大切さを再認識し、だれもが住み慣れたこの魚津市で安心して暮らせる地域福祉のまちづくりの実現に向け努力することを誓い、ここに宣言します。

平成29年7月8日

第66回魚津市社会福祉大会